

No.	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考
64	2007/10/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女	70	消化器疾患等	C型肝炎	07/06-07	HCVコア抗原 (-) (07/06)	HCV-Abs(-) (07/07) HCVコア抗原 (+) (07/08)	HCV-RNA (-) HCV-Abs(-) (07/06)	HCV-RNA (+) HCV-Abs(+) (07/08)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体10本 全部HCV-RNA (-)	患者と献血者のHCVウイルスは Genotype 2a。患者検体(07/10/1 採血)とHCV-RNA陽性保管検体 (07/8/7採血)について超過変異域を 含むCore-E1-E2の領域1278bp (nt:488 ~ 1784)の塩基配列をRT- PCR direct sequencing法を用いて決 定したところ、両者の塩基配列は全 て一致した。また、当該献血者の過 力で再採血(07/11/12採血)による過 動調査を行ったところ、HCV-RNA(+) であった。当該検体について上記領 域の塩基配列を決定し上記2検体と 比較したところ同様の結果であった。
65	2007/10/19	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 人赤血球濃厚液-LR	女	50	血液疾患	C型肝炎	07/06-09 07/07-09 07/08 07/06-09	HCV-RNA(-) HCV-Abs(-) HCVコア抗原 (-) (07/06)	HCV-Abs(-) (07/07) HCVコア抗原 (-) (07/08) HCV-Abs(-) HCV-RNA(+) (07/08) HCVコア抗原 (+) (07/09) HCV-Abs(-) HCV-RNA(+) (07/10)	-	HCV-RNA(+) (07/10)	陽性(輸血 後)	53本HCV- RNA(-) 1本HCV- RNA(+)	
66	2007/10/19	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	外傷・整形外科的疾患	細菌感染	07/10	患者血培養に より Staphylococcus aureus, Pseudomonas aeruginosaを同 定 (07/08) Pseudomonas aeruginosa, Staphylococcus aureus (MRSA)を同定 (07/09)	患者血培養に より Staphylococcus aureusを同 定 (07/10) アナフィラキ シーショック	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。 投与中止の当該製剤(1本)で細 菌培養試験を実施。陰性。				
67	2007/10/31	人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液-LR 洗浄人赤血球浮遊液	男	10	血液疾患	B型肝炎	07/01-07 07/05 07/02-07 07/01-04 06-07	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(-) (06/07) HBV-DNA(-) (06/11) HBsAg(-) HBsAb(-) (06/12)	HBsAg(-) HBsAb(-) (07/05) HBsAg(-) (07/07) HBsAg(+) HBcAb(-) (07/07) HBsAg(+) (07/08) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBcAb(+) HBcAb(+) (07/10)	HBV-DNA(-) (07/01) HBV-DNA(-) (07/02-03) HBV-DNA(+) (07/04-07)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体159本 HBV-DNA(-)、 1本について HBV-DNA (+) 保管検体HBV- DNA (+)の献血 者は再来献血 はない。	07/07臍帯血移植 ウイルスの解析:患者献体と献血者 (HBV陽性保管検体)とPreS/S領 域を含むP領域の前半部の1550bpの 塩基配列を比較したところ、両者の 塩基配列は全て一致した。献血者と 患者のHBVウイルスはGenotype Cで 塩基配列からSubtypeはadrと推定し た。	